

都市再生整備計画 事後評価シート
三保半島地区(第3期)

平成31年2月

静岡県 静岡市

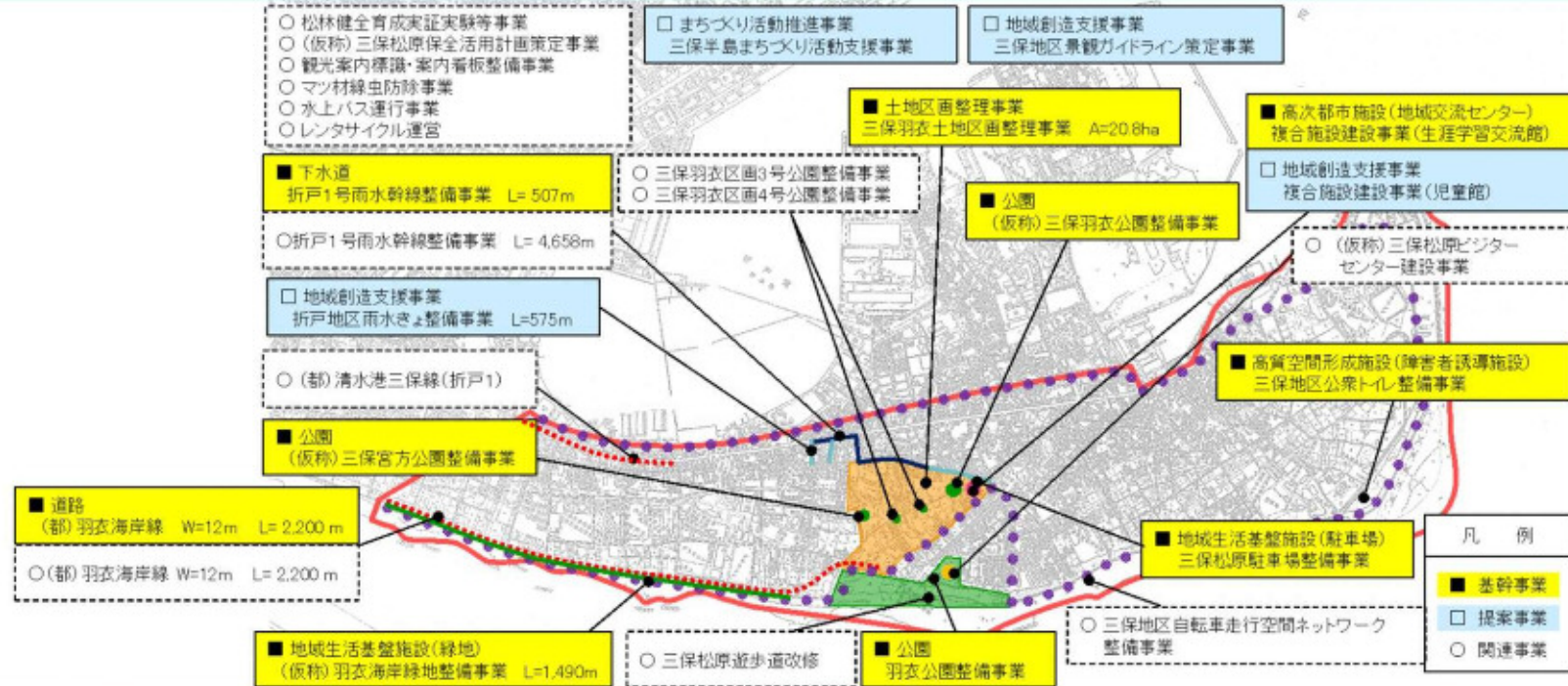
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	静岡市		地区名	三保半島地区(第3期)			面積	450ha		
交付期間	平成26～30年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	1,849.6百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】(都)羽衣海岸線 【公園】羽衣公園整備事業、(仮称)三保羽衣公園整備事業、(仮称)三保宮方公園整備事業 【下水道】折戸1号雨水幹線整備事業 【地域生活基盤施設】(仮称)羽衣海岸緑地整備事業 【土地区画整理事業】三保羽衣土地区画整理事業										
		提案事業	【地域創造支援事業】三保地区公衆トイレ整備事業 【地域創造支援事業】三保地区景観計画ガイドライン策定事業 【地域創造支援事業】折戸地区雨水きよ整備事業 【まちづくり活動推進事業】三保半島まちづくり活動支援事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路】(都)羽衣海岸線 【下水道】折戸1号雨水幹線整備事業										
		提案事業	【地域創造支援事業】三保地区公衆トイレ整備事業										
新たに追加した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設(駐車場)】三保松原駐車場整備事業 【高質空間形成施設(障害者誘導施設)】三保地区公衆トイレ整備事業 【高次都市施設(地域交流センター)】複合施設建設事業(三保地域交流センター)											
	提案事業	【地域創造支援事業】複合施設建設事業(児童館)											
交付期間の変更	当初	平成26～30年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
2)都市再生整備計画に記載した指標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	観光入込客数	人/年	906,734	H24	1,200,000	H29	1,066,343	994,973	△	あり	(仮称)三保松原ビジターセンターは平成31年3月開館であることから、その効果を発現していなかった。また、(都)羽衣海岸線をはじめとする三保半島へのアクセス道路の整備、改善が完了すれば、観光入込客数の増加につながることを期待される。	-
	指標2	道路・自転車道に対する満足度	%	20.1	H25	30.7	H30	20.5	29.8	△	あり	(都)羽衣海岸線等の三保半島へのアクセス道路が整備中であるため、道路・自転車道に対する満足度が目標値の達成に至らなかったが、三保地区自転車走行空間ネットワーク整備事業、三保羽衣土地区画整理事業により、自転車道、道路の整備は進んでいるため、1年以内の目標値の達成見込みについては「あり」となった。	平成32年度以降
	指標3	安心・安全に対する満足度	%	10.6	H25	24.5	H30	16.7	32.9	○	あり	地区の避難地となる複合施設(生涯学習交流館)や、局地的豪雨による浸水被害を軽減する折戸地区雨水きよ、三保羽衣土地区画整理事業により地区のハード整備が進み、かつ三保半島まちづくり活動支援事業等のソフト事業も実施されたことにより、誰もが快適で住みやすい、安心・安全のまちづくりが推進された。	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	三保半島での滞在時間	点	3.4	H25			3.5	3.1			ハード事業とソフト事業の相乗効果で滞在時間が増加することを期待したが、指標計測時点での完了事業が少なかったことが滞在時間に影響した。	-
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・羽衣海岸緑地整備事業等より、地区内の緑地空間が豊かになり、景観も向上した。 ・土地区画整理事業や各種道路事業の実施、進捗により歩道も整備され、歩行しやすい環境が整備された。 ・三保半島地区の住民にとって三保松原の自然環境が適切に保全・保護されていると思う人が、計画策定時よりも増加した。 												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	平成28年度 指標の達成状況の計測と庁内組織による検討			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	他地区の計画等でもモニタリング調査は今後も継続して実施する。		
	住民参加プロセス	三保半島地区まちづくり協議会※1 三保半島景観形成ガイドライン策定に係る検討※2			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●※1 ●※2	※1 協議会活動等の情報発信を積極的に行うとともに、他のまちづくりに関する団体との連携を図りながら、住民のまちづくりに対する意識向上を図る。 ※2 住民参加による意見交換会等を継続して行い、策定した三保半島景観形成ガイドラインの周知・運用を図る。		
持続的なまちづくり体制の構築	継続的な市民まちづくり活動を実施できる体制の構築			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	三保半島地区まちづくり協議会を中心として、継続的にまちづくり活動を支援する。			

様式2-2 地区の概要

三保半島地区(静岡県静岡市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
富士山世界文化遺産の構成資産である「三保松原」を核とし、豊かな地域資源を活かした文化・観光・生活の交流半島まちづくり	観光入込人数 単位：人/年	906,734	H24	1,200,000 H29	994,973 H29
目標①：地域資源を磨き上げることで、魅力ある観光まちづくりを実現	道路・自転車道に対する満足度 単位：%	20.1	H25	30.7 H30	29.8 H30
目標②：様々な交通手段を組み合わせ、交通ネットワークを充実させることで回遊性を向上	安心・安全に対する満足度 単位：%	10.6	H25	24.5 H30	32.9 H30
目標③：誰もが快適で住みやすい、安心・安全のまちづくりの推進					
目標④：地域住民が主体となったまちづくりの実現					



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業の進捗により、良好な市街地環境が形成しつつある。 ・民間事業者による、水上バスの運行やシェアサイクルの運用により、多様なアクセス手段が確保されている。 ・複合施設(生涯学習交流館)等の整備により、地域の避難地が確保され、折戸地区雨水きよが整備されたことにより、浸水被害の軽減が見込まれる。 ・三保松原の松林や遊歩道のメンテナンスにより、観光資源である三保松原の美観が保たれている。 ・地域住民の方々による三保半島地区まちづくり協議会の運営が継続して実施されている。 ・三保羽衣土地区画整理事業、それに伴う三保羽衣区画3号公園、三保羽衣区画4号公園が整備中であり、公共空間の早期整備が必要である。 ・(都)羽衣海岸線、(都)清水港三保線(折戸1)が整備中であり、観光地へのアクセス道路の早期整備が必要である。 ・折戸1号雨水幹線が整備中であり、浸水被害への早期対策が必要である。 ・現在整備中の公共空間整備により、三保半島の地域資源の更なる磨き上げ・活用の推進を図り、観光面の充実化が望まれる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・整備途中の事業に関しては、早期完了に努める。 ・新たに整備された避難地となる施設の情報について、地域住民の方々に周知するために、防災情報マップなどの防災情報の更新等、防災に関するソフト事業を実施する。 ・三保半島地区まちづくり協議会と連携を図るため、意見交換を実施する等、今後も地域住民が主体となったまちづくりを支援する。 ・日本平山頂展望施設や清水港海洋文化拠点等、周辺の観光施設との相互アクセス性の向上を図る。 ・平成31年3月に開館する(仮称)三保松原ビジターセンターについて、適宜、展示物の見直しを実施し、日本平山頂展望施設や清水港海洋文化拠点と連携して積極的な観光PRを実施する。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	—	—	—
B. 目標を定量化する指標		●	—	—	—
C. 目標値		●	—	—	—
D. その他()		●	—	—	—

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	(都)羽衣海岸線	1,131.0	W=12m、 L=2,200m	64.6	W=12m、 L=2,200m	平成26年12月の計画変更(第1回変更)にて他計画(関連事業)へ移行を行い、計画期間内の事業を縮小し、事業費を減額	道路・自転車道に対する満足度及び安心・安全に対する満足度に関連するが、関連事業として事業を継続するため、指標及び数値目標は据え置く	●	
公園	羽衣公園整備事業	7.5	A=17.2ha	386.8	A=17.5ha	平成26年12月の計画変更(第1回変更)にて事業費を増額、平成28年1月の計画変更(第2回変更)にて一部収益施設となることから事業費を減額、平成29年1月の計画変更(第3回変更)にて事業整備予定地の縮小により事業費を減額、平成30年1月の計画変更(第4回変更)にて、事業整備予定地の拡大により事業費を増額	観光入込客数及び安心・安全に対する満足度に関連するが、事業費及び、事業予定地の軽微な変更のみのため、指標及び数値目標に影響なし		●
	(仮称)三保羽衣公園整備事業	103.0	A=0.50ha	120.0	A=0.50ha	平成29年1月の計画変更(第3回変更)にて、労務単価や資材単価などの価格の変動により、事業費を増額	安心・安全に対する満足度に関連するが、事業費の変更のみのため、指標及び数値目標に影響なし		●
	(仮称)三保官方公園整備事業	26.5	A=0.11ha	31.0	A=0.11ha	平成29年1月の計画変更(第3回変更)にて、労務単価や資材単価などの価格の変動により、事業費を増額	安心・安全に対する満足度に関連するが、事業費の変更のみのため、指標及び数値目標に影響なし		●
河川									
下水道	折戸1号雨水幹線整備事業	448.0	L=425m	9.1	L=507m	平成26年12月の計画変更(第1回変更)にて他計画(関連事業)へ移行し、平成30年1月の計画変更(第4回変更)にて、過年度事業費の確定に伴い事業費を減額	安心・安全に対する満足度に関連するが、関連事業として事業を継続し、事業費の減額、整備延長の拡大は指標及び数値目標に影響がないため、指標及び数値目標は据え置く	●	
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	(仮称)羽衣海岸緑地整備事業	89.9	L=1,490m	89.9	L=1,490m	なし	—	—	—
	三保松原駐車場整備事業	—	—	43.4	A=2,000㎡	平成26年12月の計画変更(第1回変更)にて事業を追加し、平成28年1月の計画変更(第2回変更)にて事業費を増額	観光入込客数に関連するが、指標及び数値目標は据え置く	●	
高質空間形成施設	三保地区公衆トイレ整備事業	—	—	17.3	1箇所	平成26年12月の計画変更(第1回変更)にて事業メニューの変更及び増額	観光入込客数に関連し、増額を伴うが提案事業からの変更のため、指標及び数値目標に影響なし	●	
高次都市施設	複合施設建設事業(三保地域交流センター)	—	—	511.2	A=750㎡	平成26年12月の計画変更(第1回変更)にて事業を追加、平成28年1月の計画変更(第2回変更)にて事業費を増額、平成30年1月の計画変更(第4回変更)にて、実施設計の実施に伴い、建築面積を800㎡から750㎡へ変更、事業費を減額	安心・安全に対する満足度に関連するが、指標及び数値目標は据え置く	●	
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)	三保羽衣土地区画整理事業	460.5	A=20.8ha	320.5	A=20.8ha	平成29年1月の計画変更(第3回変更)、平成30年1月の計画変更(第4回変更)にて、実績及び残事業量の精査により事業費を減額	道路・自転車道に対する満足度及び安心・安全に対する満足度に関連するが、事業費の変更のみのため、指標及び数値目標に影響なし		●
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	三保地区公衆トイレ整備事業	12.0	1箇所	—	—	平成26年12月の計画変更(第1回変更)にて提案事業から削除し、基幹事業の高質空間形成施設に変更	観光入込客数に関連するが、基幹事業への変更のため、指標及び数値目標に影響なし	●	
	三保地区景観計画ガイドライン策定事業	10.0	—	10.0	—	なし	—	●	
	折戸地区雨水きよ整備事業	43.0	L=575m	102.0	L=575m	平成29年1月の計画変更(第3回変更)にて、労務単価や資材単価などの価格が変動により、事業費を増額	安心・安全に対する満足度に関連するが、事業費の変更のみのため、指標及び数値目標に影響なし	●	
	複合施設建設事業(児童館)	—	—	112.8	A=250㎡	平成26年12月の計画変更(第1回変更)にて事業を追加、平成28年1月の計画変更(第2回変更)にて事業費を増額、平成30年1月の計画変更(第4回変更)にて、実施設計の実施に伴い、建築面積を800㎡から750㎡へ変更、事業費を減額	安心・安全に対する満足度に関連するが、指標及び数値目標は据え置く	●	
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業	三保半島まちづくり活動支援事業	17.0	—	31.0	—	平成26年12月の計画変更(第1回変更)にて事業費を増額	安心・安全に対する満足度に関連するが、事業費の変更のみのため、指標及び数値目標は影響なし		●

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考	
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画			
		複合施設建設事業(生涯学習交流館)	459.7	—	平成26年度～平成29年度	—	—	平成26年12月より、基幹事業へ移行	
		複合施設建設事業(児童館)	89.1	—	平成26年度～平成29年度	—	—	平成26年12月より、提案事業へ移行	
		(都)羽衣海岸線	—	1,783.0	—	平成16年度～平成30年度	用地取得の難航により、長期化しており、平成30年度も引き続き用地取得を行い、道路工事を実施予定	平成26年12月より、基幹事業から移行	
		折戸1号雨水幹線整備事業	—	1,842.9	—	平成21年度～平成30年度	他事業の影響により長期化しており、平成32年完成予定	平成26年12月より、基幹事業から移行	
		(仮称)三保松原ビジターセンター建設事業	320.0	719.3	平成26年度～平成29年度	平成26年度～平成30年度	平成30年度完成予定		
		三保羽衣区画3号公園整備事業	3.5	5.6	平成27年度～平成28年度	平成27年度～平成30年度	平成30年度中に設計、平成31年度に工事を実施し、平成31年度中に完成、供用開始予定		
		三保羽衣区画4号公園整備事業	5.0	8.9	平成27年度～平成28年度	平成27年度～平成30年度	平成30年度中に設計、平成31年度に工事を実施し、平成31年度中に完成、供用開始予定		
		(都)清水港三保線(折戸1)	830.0	1,390.0	平成19年度～平成27年度	平成19年度～平成32年度	今後電線管理者との合意に向けた協議を実施し、平成32年度完成予定		
		三保地区自転車走行空間ネットワーク整備事業	50.0	414.0	平成25年度～平成30年度	平成27年度～平成30年度	平成30年度完成予定		
		松林の健全な育成に向けた実証実験等事業	45.9	6.2	平成26年度～平成30年度	平成26年度～平成30年度	平成30年度完成予定		
		(仮称)三保松原保全活用計画策定事業	0.0	0.0	平成25年度～平成27年度	平成25年度～平成27年度	完成		
		観光案内標識・案内看板整備事業	15.0	15.0	平成26年度～平成26年度	平成26年度～平成26年度	完成		
		三保松原遊歩道改修	15.0	15.0	平成26年度～平成26年度	平成26年度～平成26年度	完成		
		マツ材線虫防除事業	196.0	129.8	平成26年度～平成30年度	平成26年度～平成30年度	平成30年度完成予定		
		水上バス運行事業	—	—	—	—	民間事業者により事業実施中		
		レンタサイクル運営	—	—	—	—	静岡市観光自転車ネットワーク協議会により事業実施中		
		清水三保羽衣地区((都)塚間羽衣線)	1,666.0	1,639.6	平成25年度～平成28年度	平成25年度～平成32年度	平成30年度完成予定		

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)	従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無			
				基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	事後評価	事後評価	あり	なし				
指標1	観光入込客数	人/年	毎年実施している、観光交流客数調査のデータのうち、平成29年度値を評価値とする。	914,046	H17	906,734	H24	1,200,000	H29	モニタリング	1,066,343 (平成27年度値)	H28	モニタリング	△		
										事後評価	確定 ●	見込み	994,973	事後評価	△	
指標2	道路・自転車道に対する満足度	%	平成30年7、8月に三保半島地区を対象とした郵送アンケート(700名を無作為抽出)を実施し、「道路・自転車道の整備状況に満足していますか。」という設問に対し「満足」、「どちらかという満足」と回答した割合を評価値とする。	—	—	20.1	H25	30.7	H30	モニタリング	20.5 (平成28年度値)	H28	モニタリング	△		
										事後評価	確定 ●	見込み	29.8	事後評価	△	
指標3	安心・安全に対する満足度	%	平成30年7、8月に三保半島地区を対象とした郵送アンケート(700名を無作為抽出)を実施し、「安心・安全に生活することができると感じますか。」という設問に対し「そう思う」、「どちらかというと思う」と回答した割合を評価値とする。	—	—	10.6	H25	24.5	H30	モニタリング	16.7 (平成28年度値)	H28	モニタリング	△		
										事後評価	確定 ●	見込み	32.9	事後評価	○	

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	平成29年度の観光入込客数を計測したところ、目標値を上回る結果が得られなかったが、従前(平成24年度)から平成29年度までの減少傾向よりは改善していると認められた。しかしながら、(仮称)三保ビクターセンターの開館による効果を含めた、交付期間終了後1年後のH31年度の観光入込客数の推計であっても、目標値を越える値が見込めないため、1年以内の達成見込みなしとした。	—
指標2	平成30年度のアンケート調査より、道路・自転車道に対する満足度を計測したところ、目標値を上回る結果が得られなかったが、「道路・自転車道の整備状況に満足していますか」という設問に対して、「どちらとも言えない」～「不満」と回答した人のうち「指標の改善に関連する事業が完成すると、道路・自転車道の整備状況に満足できますか」という設問に「満足」～「どちらかと言うと満足」と回答した人を考慮した評価値を計測したところ、目標値を上回ったため、1年以内の達成見込みありとした。	—
指標3	平成30年度のアンケート調査より、安心・安全に対する満足度を計測したところ、目標値を上回る結果が得られたため。	—

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

- : 評価値が目標値を上回った場合
- △: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
- ×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標		データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
			基準年度		基準年度						
その他の数値指標1	三保半島での滞在時間	点	平成30年10月1日「三保松原」にて、観光客を対象にアンケート調査を実施し、「三保半島での滞在時間はどの位ですか。(どの位を予定していますか。)」という5択の選択肢に1点~5点の点数を付け、加重平均をとった数値を評価値とする	—	3.4	H25	モニタリング	H28	3.5	観光入込客数という「量」の指標だけでなく、「質」の向上も観光面の充実には欠かせないため、滞在時間の変化からも事業効果を説明する。	指標1を補完して、観光面への事業効果を説明することを見込んでいたが、富士山の見え方による当指標への影響が大きく、期待した効果が得られなかった。(晴天日でも富士山が見えない日もあり、調査日の設定が難しい)
							事後評価	確定 ●	3.1		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・羽衣海岸緑地整備事業等より、地区内の緑地空間が豊かになり、景観も向上した。
- ・土地区画整理事業や各種道路事業の実施、進捗により歩道も整備され、歩行しやすい環境が整備された。
- ・三保半島地区の住民にとって三保松原の自然環境が適切に保全・保護されていると思う人が、計画策定時よりも増加した。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
指標の達成状況の計測と庁内組織による検討	予定どおり実施した	<ul style="list-style-type: none"> ● 【実施時期】平成28年度 【実施結果】 ・都市再生整備計画登録事業の進捗状況の把握 ・住民アンケートの実施(210通回収) ・来訪者アンケートの実施(116通回収) ・観光入込客数に関する統計資料整理 ・上記調査資料を用いた目標値の達成見込みの検討 	他地区の計画等でもモニタリング調査は今後も継続して実施する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
三保半島地区まちづくり協議会	予定どおり実施した	<ul style="list-style-type: none"> ● 【実施頻度】会議：計16回 勉強会：計3回(平成30年8月現在) 【実施時期】：平成26年度～平成30年度 【実施結果】：事業の進捗状況の周知や、今後まちづくりに関する課題の選定等を実施し、住民のまちづくりに対する意識向上を図った。 	協議会活動等の情報発信を積極的に行うとともに、他のまちづくりに関する団体との連携を図りながら、住民のまちづくりに対する意識向上を図る。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
<ul style="list-style-type: none"> ・三保半島景観形成ガイドライン策定に係る検討 景観まちづくり講演会 景観まちづくりワークショップ 景観まちづくりニュースレター発行 	予定どおり実施した	<ul style="list-style-type: none"> ● 【実施頻度】： (平成27年度)有識者による講演会：1回、ワークショップ：計6回、ニュースレター：計3回 (平成28年度)ワークショップ：計4回、ニュースレター：1回 (平成29年度)ワークショップ：計2回、ニュースレター：1回 【実施時期】：平成27年度～平成29年度 【実施結果】：三保半島景観形成ガイドライン策定後の周知として、住民との意見交換会やニュースレターの発行等を実施。 	住民参加による意見交換会等を継続して行い、策定した三保半島景観形成ガイドラインの周知・運用を図る。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名：組織の概要	
継続的な市民まちづくり活動を実施できる体制の構築	予定どおり実施した	<ul style="list-style-type: none"> ● 【実施頻度】会議：合計16回 勉強会：計3回(平成30年8月現在) 【実施時期】：平成26年度～平成30年度 【実施結果】三保半島地区まちづくり協議会にて、三保半島地区の「観光地としての活性化」、「誇りを持てる住み良いまちづくり」を実現するため、地元住民を中心としたまちづくり協議会の組織を設立し、運用している。 	三保半島地区まちづくり協議会：地元住民を中心としたまちづくり協議会を組織し、三保半島地区の整備内容等に対する地元の意見の取りまとめ、地域と行政との協働により事業を推進していくことを目的としている。	三保半島地区まちづくり協議会を中心として、継続的にまちづくり活動を支援する。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
静岡市都市再生整備計画事業推進本部	部会長：都市局次長兼都市計画部長 部会員：総務局危機管理総室長、企画局次長、財政局次長兼財政部長、市民局次長、観光交流文化局次長、環境局次長、保健福祉長寿局長兼健康福祉部長、子ども未来局次長、経済局次長兼商工部長、都市局建築部長、建設局次長兼土木部長、建設局道路部長、消防局次長兼消防部長、上下水道局下水道部長、教育委員会事務局教育局長	第1回：平成30年10月9日(火) 第2回：平成30年11月8日(木)	都市局 都市計画部 都市計画課
三保半島地区地区部会 (上記推進本部の下部組織)	部会長：市街地整備課長 部会員：生涯学習推進課長、観光・国際交流課長、文化財課長、子ども未来課長、都市計画課長、緑地政策課長、公園整備課長、建築総務課参与兼課長、道路計画課長、道路保全課参与兼課長、清水道路整備課長、下水道計画課長、下水道建設課長	第1回：平成30年9月5日(水) 第2回：平成30年10月25日(木)	都市局 都市計画部 市街地整備課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標3	指標2				
指標名		安心・安全に対する満足度(%)	道路・自転車道に対する満足度(%)				
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路：(都)羽衣海岸線(一部施工後、関連事業に移行)	△	地区の避難地となる複合施設(生涯学習交流館)や、局地的豪雨による浸水被害を軽減する折戸地区雨水きよ、三保羽衣土地区画整理事業により地区のハード整備が進み、かつ三保半島まちづくり活動支援事業等のソフト事業も実施されたことにより、誰もが快適で住みやすい、安心・安全のまちづくりが推進された。	△	(都)羽衣海岸線等の三保半島へのアクセス道路が整備中であるため、道路・自転車道に対する満足度が目標値の達成に至らなかったが、三保地区自転車走行空間ネットワーク整備事業、三保羽衣土地区画整理事業により、自転車道、道路の整備は進んでいるため、1年以内の目標値の達成見込みについては「あり」となった。		
	公園：羽衣公園整備事業	◎					
	公園：(仮称)三保羽衣公園整備事業	◎					
	公園：(仮称)三保宮方公園整備事業	◎					
	下水道：折戸1号雨水幹線整備事業(一部施工後、関連事業に移行)	△					
	地域生活基盤施設：(仮称)羽衣海岸緑地整備事業	△					
	地域生活基盤施設：三保松原駐車場整備事業	—					
	高質空間形成施設：三保地区公衆トイレ整備事業	—					
	高次都市施設：複合施設建設事業(三保地域交流センター)	◎					
	土地区画整理事業：三保羽衣土地区画整理事業	○					
提案事業	地域創造支援事業：三保地区景観計画ガイドライン策定事業	—					
	地域創造支援事業：折戸地区雨水きよ整備事業	◎					
	地域創造支援事業：複合施設建設事業(児童館)	◎					
	まちづくり活動推進事業：三保半島まちづくり活動支援事業	○					
関連事業	(都)羽衣海岸線	△		△			
	折戸1号雨水幹線整備事業	△		—			
	(仮称)三保松原ビジターセンター建設事業	◎		—			
	三保羽衣区画3号公園整備事業	○		—			
	三保羽衣区画4号公園整備事業	○		—			
	(都)清水港三保線(折戸1)	△		△			
	三保地区自転車走行空間ネットワーク整備事業	—		◎			
	松林の健全な育成に向けた実証実験等事業(市有林管理計画)	—		—			
	(仮称)三保松原保全活用計画策定事業	—		—			
	観光案内標識・案内看板整備事業	—		○			
	三保松原遊歩道改修	—		◎			
	マツ材線虫防除事業	—		—			
	水上バス運行事業	—		○			
レンタサイクル運営	—		○				
清水三保羽衣地区((都)塚間羽衣線)	◎		◎				

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後も事業進捗の向上を図るとともに、住民主体のまちづくりの支援等ソフト事業も合わせて実施し、誰もが快適で住みやすい、安心・安全のまちづくりを推進する。	事業進捗の向上を図るとともに、整備された自転車道や道路について三保半島地区まちづくり協議会等を通じて、地域住民へ情報提供などを行うことで道路・自転車道に対する満足度の向上を図る。		
-------	---	---	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
静岡市都市再生整備計画事業推進本部	部会長: 都市局次長兼都市計画部長 部会員: 総務局危機管理総室長、企画局次長、財政局次長兼財政部長、市民局次長、観光交流文化局次長、環境局次長、保健福祉長寿局次長兼健康福祉部長、子ども未来局次長、経済局次長兼商工部長、都市局建築部長、建設局次長兼土木部長、建設局道路部長、消防局次長兼消防部長、上下水道局下水道部長、教育委員会事務局教育局次長	平成30年11月8日(木)	都市局 都市計画部 都市計画課
三保半島地区部会 (上記推進本部の下部組織)	部会長: 市街地整備課長 部会員: 生涯学習推進課長、観光・国際交流課長、文化財課長、子ども未来課長、都市計画課長、緑地政策課長、公園整備課長、建築総務課参与兼課長、道路計画課長、道路保全課参与兼課長、清水道路整備課長、下水道計画課長、下水道建設課長	平成30年10月25日(木)	都市局 都市計画部 市街地整備課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
土地区画整理を中心とした公共空間の整備と良好な市街地環境の形成	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業の進捗により、良好な市街地環境が形成しつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> 三保羽衣土地区画整理事業、それに伴う三保羽衣区画3号公園、三保羽衣区画4号公園が整備中であり、公共空間の早期整備が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> (仮称)三保松原ビジターセンターの開館に伴い、観光入込客数の増加が見込まれるが、その効果を継続させるために適宜、展示物の見直しや積極的なPRを行うことで、施設の集客効果を維持、向上を図る必要がある。 三保半島地区まちづくり協議会メンバーのみならず、広く地域住民のまちづくりへの参加を推進する必要がある。
道路ネットワークの充実を図るため、観光地へのアクセス道路・生活道路の改善、拡充	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業の進捗により生活道路が整備、改善された。 民間事業者による、水上バスの運行やシェアサイクルの運用により、多様なアクセス手段が確保されている。 	<ul style="list-style-type: none"> (都)羽衣海岸線、(都)清水港三保線(折戸1)が整備中であり、観光地へのアクセス道路の早期整備が必要である。 	
地域特性を考慮して、さらなる地域総合防災力の強化	<ul style="list-style-type: none"> 複合施設(生涯学習交流館)等の整備により、地域の避難地が確保され、折戸地区雨水きよが整備されたことにより、浸水被害の軽減が見込まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 折戸地区雨水きよ整備が進み、浸水被害軽減が見込まれるものの、その下流側の折戸1号雨水幹線が整備中であり、浸水被害への早期対策が必要である。 	
富士山世界文化遺産の構成資産に登録された「三保松原」を中心に、更なる地域資源の磨き上げ・活用を推進し、三保半島の観光面を充実	<ul style="list-style-type: none"> 三保松原の松林や遊歩道のメンテナンスにより、観光資源である三保松原の美観が保たれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在整備中の公共空間整備により、三保半島の地域資源の更なる磨き上げ・活用の推進を図り、観光面の充実化が望まれる。 	
地域全体の包括的な取り組みを促すシステムづくり(組織の育成、地域連携に向けたソフト施策の展開)	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の方々による三保半島地区まちづくり協議会運営が継続して実施されている。 	—	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	避難地に関する情報の周知	・新たに整備された避難地となる施設の情報について、地域住民の方々に周知する。	・防災情報マップなどの防災情報の更新、地域住民への情報の周知等、防災に関するソフト事業を実施する。
	三保半島地区まちづくり協議会との連携	・三保半島地区まちづくり協議会と連携を図り、今後も地域住民が主体となったまちづくりを支援する。	・三保半島地区まちづくり協議会との意見交換を実施する。

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	公共空間の整備	・三保羽衣土地区画整理事業の早期完了。	・三保羽衣土地区画整理事業、三保羽衣区画3号公園整備事業、三保羽衣区画4号公園整備事業、(仮称)羽衣海岸緑地整備事業の推進。
	観光地へのアクセス性の向上	・三保半島地区の観光地などへのアクセス道路の早期整備を図る。 ・日本平山頂展望施設や清水港海洋文化拠点等、周辺の観光施設との相互アクセス性の向上を図る。	・(都)羽衣海岸線、(都)清水港三保線の推進。
	観光PRの強化	・三保半島地区の公共空間の早期整備を図り、三保半島の地域資源の更なる磨き上げ・活用の推進により、観光面のさらなる充実化を目指す。 ・平成31年3月に開館する(仮称)三保松原ビジターセンターについて、適宜、展示物の見直しを実施し、積極的な観光PRを実施する。	・展示物に関して、来館者の意見を収集し、展示物の改善に努める。 ・日本平山頂展望施設や清水港海洋文化拠点の観光施設と共に、(仮称)三保松原ビジターセンター等について、インターネットや観光パンフレットでPRを強化するとともに、三保半島地区内においても地域資源の磨き上げを行う。
	浸水被害への対策	・折戸1号雨水幹線の早期整備により、浸水被害の軽減を図る。	・折戸1号雨水幹線整備事業の推進。

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度				あり	なし	予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	観光入込客数	人/年	906,734	H24	1,200,000	H29	確定 ●	994,973	△	あり	●	—	—	—
										見込み	●			
指標2	道路・自転車道に対する満足度	%	20.1	H25	30.7	H30	確定 ●	29.8	△	あり	●	平成32年度以降	三保半島地区を対象とした郵送アンケート(700名を無作為抽出)を実施する。	全ての事業完了後にアンケートを実施する。
										見込み	●			
指標3	安心・安全に対する満足度	%	10.6	H25	24.5	H30	確定 ●	32.9	○	あり	—	—	—	—
										見込み	—			
その他の数値指標1	三保半島での滞在時間	点	3.4	H25	/	/	確定 ●	3.1	/	/	/	—	—	—

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・モニタリングを実施したことにより、交付期間中に事業の進捗状況や効果を確認することができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・他地区の計画等でもモニタリング調査は今後も継続して実施する。 ・事業の進捗状況によっては、交付終了翌年度に実施することも検討する。
	うまくいかなかった点	・平成30年度中に完成が見込まれる事業も多く、指標の数値計測時点では指標の改善に関する事業の効果が発現されなかったことにより、目標値を達成できていない指標もあった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	—	<ul style="list-style-type: none"> ・事業完了時期と指標計測時期の関係性を明確にして、適切な評価ができる目標設定に努める。
	うまくいかなかった点	・指標「観光入込客数」に直結する事業が少なく、直結する事業も事後評価値計測時点で未完成であったため、十分な効果が発現しなかった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	—	—
	うまくいかなかった点	—	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・採用した指標「観光入込客数」は観光客数調査として毎年度、数値が整理されているためモニタリングを容易に実施することができ、1年度以内の達成見込みの分析もスムーズに実施することができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に実施されている調査結果も指標として活用することを検討する。
	うまくいかなかった点	—	
その他	うまくいった点	・庁内の検討体制として、地区部会と推進本部会議を各2回開催したことで、事業担当部局及び非担当部局を含めた十分な検討が実施出来た。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も現行の検討体制を継続する。
	うまくいかなかった点	—	

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

草薙駅周辺地区：平成31年度、事後評価実施予定
 駿府ふれあい地区(第3期)：平成32年度、事後評価実施予定

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに記載	平成30年11月22日(木)～平成30年12月25日(火)	平成30年11月22日(木)～平成30年12月25日(火)	パブリックコメント(意見公募手続き)にて実施、郵送、ファクシミリ送信、電子メール及び市役所市街地整備課、または各区役所窓口へ直接持参	都市局 都市計画部 市街地整備課
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページで原案を公表している旨を掲載	平成30年11月1日(木)発行 広報11月号	平成30年11月22日(木)～平成30年12月25日(火)		
説明会・ワークショップ	第17回三保半島地区まちづくり協議会を開催し、市民意見募集に関する説明を実施した。 参加者:協議会委員8名	平成30年11月27日(火)にまちづくり協議会委員への説明会を開催	平成30年11月22日(木)～平成30年12月25日(火)		
その他	市街地整備課窓口、各区庁舎市政情報コーナー、三保生涯学習交流館及び、折戸生涯学習交流館における閲覧	平成30年11月22日(木)～平成30年12月25日(火)	平成30年11月22日(木)～平成30年12月25日(火)		

住民の意見	<p>全8件の意見を頂きました。以下代表意見を記載します。</p> <p>【都市再生整備計画について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界文化遺産の登録から五年が経過し、ようやく三保地区の整備効果が体感できるようになった。 ・本整備計画事業により、三保半島の整備が進み、大変良くなったと評価する。一部目標達成できなかったが、住み良く、安心安全な町づくりに取り組めた。 ・今後の課題として、この整備事業を更に磨き上げるための事業計画がないのが残念と思う。次の施策を早急をお願いしたい。 <p>⇒(市から回答)本整備計画事業は、今年度で終了となりますが、頂いたご意見を今後の施策検討に活かし、引き続き有効な施策を展開できるよう、市民の皆様とともに取り組んでまいります。</p> <p>【道路について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽衣海岸線の早期開通 ・三保半島は幹線道路(三保駒越線)が狭義の単一路であるため、朝夕の通勤時における渋滞が各所でおきており、半島から国道150号へ向かう車の渋滞が珍しくない。渋滞緩和の対策や観光地として改革をお願いしたい。 <p>⇒(市から回答)羽衣海岸線につきましては、来年度春に国道150号からの一部区間について部分開通する予定です。また、その先についても用地が取得でき次第、速やかに工事着工し、整備を進めてまいります。また、三保駒越線につきましては、2車線から4車線にする道路拡幅事業を実施しており、羽衣海岸線の整備事業と合わせ、三保半島地区の道路ネットワークの強化により渋滞緩和を図ってまいります。</p> <p>【観光について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光面の充実として、悪天候時の対応(冬季晴天時しか富士山が見えない、雨天時に海岸線を歩く事が出来ない)として、ビジターセンターを早急に作って欲しい。 <p>また、神の道の木道を羽衣の松まで伸ばして欲しい。</p> <p>⇒(市から回答)現在、羽衣の松周辺では松に衰退が見られることから、樹勢回復のための土壌改良を実施しております。木道の設置については、地元や県と効果の検証を行ったうえで、松や土壌、景観、費用など、様々な面から総合的に検討し判断していきたいと考えております。また、名勝であり世界文化遺産の構成資産でもある「三保松原」の価値や魅力を発信する「静岡市三保松原文化創造センター」が平成31年3月30日にオープンします。同センターでは、三保松原に関わる文化や自然を映像や展示により紹介しています。三保松原から見た富士山の大きな画像を展示していますので、天候に左右されずに富士山や三保松原を楽しんでもらえる施設となっております。</p> <p>【浸水対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折戸地区では大雨の度、水害にあっているため、工事の早期完了をお願いしたい。 <p>⇒(市から回答)現在、県道三保駒越線及び周辺市道において整備を進めております。また、その上流の予定区間についても早期完了を目指し整備を順次進めてまいります。</p>
-------	---

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	日詰 一幸(静岡大学人文社会科学部 法学科 教授) 室田 昌子(東京都市大学環境学部環境創生学科 教授)(欠席)	平成31年1月31日(木)	都市局 都市計画部 都市計画課	静岡市都市再生整備計画事業評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	松本 亨(技術士)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・特になし
	成果の評価	◆(仮称)三保松原ビジターセンター建設事業について ・(仮称)三保ビジターセンターのPR活動やパンフレットの設置を行うなど、熱心に広報活動を行っていることも評価できる。 ◆三保羽衣土地区画整理事業について ・市には組合をサポートいただき、早く換地処分を迎えていただきたい。
	実施過程の評価	◆住民参加プロセスの実施状況について ・定期的に三保半島地区まちづくり協議会を開催しているのは大変評価できる。 ・地域の活動者や三保を対象とした「静大フューチャーセンター」等を活用していただくことも大事だと思う。
	効果発現要因の整理	・三保羽衣土地区画整理事業によって、居住環境が向上していると思う。
	事後評価原案の公表の妥当	・事後評価原案の公表は適切に行われたと確認された。
	その他	・特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であることが確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	◆観光PRの強化について ・日本平と三保松原間の回遊性の向上のために、(仮称)三保松原ビジターセンターのパンフレット作成の際は、日本平と三保松原間の移動時間や連携状況について掲載すると良いと思う。 ・三保の既存施設、景勝地だけでは観光客を増やすことは難しい。日本平夢テラス、海洋文化拠点などと連携を行い、回遊性の向上を図ることにより観光客の来訪を促して行く必要がある。 ・施設整備は終わりつつあり、全市挙げてそれらを観光資源として活かす取組みを行わなければ観光入込客数120万人の達成は厳しいと感じる。ハード面に加えてソフト面を充実化し、三保地区全体のポテンシャルを向上させるような取組みが不可欠だと思う。 ・高校や大学等の取組と連携するなどして、観光施策はソフト面にシフトしていく方向性が望ましいかと思う。観光政策と連携を図ることが大事である。 ・自転車走行空間のネットワーク整備は今後も継続して実施していただき、観光入込客数が増加するような魅力を作っていただきたい。 ◆観光地へのアクセス性の向上について ・羽衣海岸線の整備についても、三保半島地区のポテンシャルを上げていただくよう引き続きご尽力いただきたい。
	フォローアップ	・特になし
	その他	・特になし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であることが確認された。
その他	・特になし	

都市再生整備計画(第4回変更)

み ほ はんとう だい き
三保半島地区(第3期)

しずおか しずおか
静岡県 静岡市

平成30年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	静岡市	地区名	三保半島地区(第3期)	面積	450 ha
計画期間	平成	26	年度	～	平成	30	年度
				交付期間	平成	26	年度
					～	平成	30
							年度

目標

富士山世界文化遺産の構成資産である「三保松原」を核とし、豊かな地域資源を活かした文化・観光・生活の交流半島まちづくり

目標①：地域資源を磨き上げることで、魅力ある観光まちづくりを実現

目標②：様々な交通手段を組み合わせ、交通ネットワークを充実させることで回遊性を向上

目標③：誰もが快適で住みやすい、安心・安全のまちづくりの推進

目標④：地域住民が主体となったまちづくりの実現

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

静岡市の三保半島は、羽衣伝説に代表され、平成25年6月に富士山世界文化遺産の構成資産に登録された名勝「三保松原」を有する全国的にも有名な観光地であり、さらに海水浴場や、周囲には日本三大美港と呼ばれる清水港をはじめ、日本の観光百選、国の名勝、県の自然公園に指定された日本平や、平成22年に国宝に指定された久能山東照宮、石垣イチゴ狩り等の観光スポットが点在し、これらと連携した観光戦略が求められている。一方で、地区内には東海大学をはじめとする教育施設や福祉・コミュニティ施設が多く立地するほか、地区北部には造船業や金属業を中心に発達した工業地帯が広がり、観光の賑わいと市民生活の営みが混在する地区でもある。今般、世界遺産登録で一躍脚光を浴び、観光客の期待度が高まっているため、さらに地域資源を磨き上げることで、観光客の満足度向上を図り、更なる観光客の集客につなげる必要がある。

現在、当該地区を貫く幹線道路がひとつしかなく、地区内の生活道路は4mに満たない狭隘な道路が多いため、朝晩の通勤・通学、帰宅時に渋滞が発生しているだけでなく、観光シーズンには慢性的な渋滞となっている。今後、世界遺産登録で増加する観光客を受け入れるため、早期の道路、都市基盤の整備が求められている。また、半島の大半が南海トラフ地震による津波被害を受けることが想定されているほか、近年のゲリラ豪雨等による浸水被害も危惧され、安心して安全に生活できるまちづくりが求められている。

また、三保半島まちづくり協議会による、「三保の松原散策マップ」の編集・配布、QRコードを使った情報板(見えなくても観る解説看板)の実験的設置等、住民の参画を得ながら、協働によるまちづくりを進めているところである。

課題

①土地区画整理を中心とした公共空間の整備と良好な市街地環境の形成

・区画整理事業完了に向け、今後も公共施設の整備を進めるため、継続的な事業の遂行が必要である。

②道路ネットワークの充実を図るため、観光地へのアクセス道路・生活道路の改善、拡充

・三保松原が、富士山世界文化遺産の構成資産になったことから、観光拠点としての注目度が飛躍的に伸びていることから、道路ネットワーク形成の強化・拡充が求められる。

・多様なニーズに合わせた交通ネットワークの形成により回遊性を向上し、道路整備事業のみならず、水上バスの活用や自転車道の再整備など多角的な対策が必要となる。

③地域特性を考慮して、さらなる地域総合防災力の強化

・防災機能の強化策は進めているものの、地域特性上、津波被害が危惧される地区であることから、地域防災力の強化策が必要となる。

④富士山世界文化遺産の構成資産に登録された「三保松原」を中心に、更なる地域資源の磨き上げ・活用を推進し、三保半島の観光面を充実

・富士山の世界文化遺産登録を契機に、観光客の増加が見込まれるため、更なる地域資源の磨き上げや活用の推進、ブランド化に力を入れていく必要がある。

⑤地域全体の包括的な取り組みを促すシステムづくり(組織の育成、地域連携に向けたソフト施策の展開)

・地元まちづくり協議会の活動範囲を三保半島全体に拡大して活動を進めているところであるが、まちみがき戦略プラン(H23年10月)でも、「官民が一体となり、日本平・久能山・三保地区を日本一の観光地に磨き上げる」という戦略的ビジョンが示されていることから、更なる取り組みの強化・拡充が課題である。

将来ビジョン(中長期)

■静岡市第2次総合計画「世界に輝く『静岡』の創造」

・観光資源の強化・充実として、名勝「三保松原」が位置付けられている。

■都市マスタープラン

まちづくりの目標(地域構想)「美しく豊かな自然資源を背景に、みなとの薫りが漂う風光明媚なまちづくり」

(地域整備の基本方針)・清水を象徴する郷土景観である三保海岸の自然環境を保全

(自然環境の保全及び公園緑地の整備方針)

・三保海岸は養浜等の海岸浸食対策を促進することにより、美しい砂浜海岸を維持・保全する。・海岸沿を連絡する歩行者自転車道路のネットワーク整備の推進(市街地環境の整備推進)

・折戸地区の未整備市街地においては、主要生活道路等の基盤整備を推進しながら、地区計画制度等の活用により、良好な低密度住宅地の形成

・三保地区の未整備市街地においては、土地区画整理事業の計画的な整備により、周辺環境と調和し、ゆとりある良好な低密度住宅地の形成

■静岡市まちみがき戦略推進プラン

「官民が一体となり、日本平・久能山・三保地区を日本一の観光地に磨き上げる。」日本平・久能山・三保地区のエリアマネジメント等の活用検証・反映

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
観光入込客数	人/年	三保半島における1年間の観光入り込み客数(市観光統計資料)	地域資源を磨き上げることで、魅力ある観光まちづくりの実現に対する指標	906,734	H24	1,200,000	H29
道路・自転車道に対する満足度	%	道路・自転車道の整備状況に対する住民の満足度の割合	交通ネットワークを充実させることで回遊性を向上に対する指標	20.1	H25	30.7	H30
安心・安全に対する満足度	%	安心・安全に対する住民の満足度の割合	誰もが快適で住みやすい、安心・安全のまちづくりの推進に対する指標	10.6	H25	24.5	H30

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針

整備方針1: 地域資源を磨き上げることで、魅力ある観光まちづくりを実現
 ・富士山世界文化遺産の構成資産に登録された「三保松原」を中心に、更なる地域資源の磨き上げ・活用を推進し、三保半島の観光面の充実のための整備の推進

整備方針2: 様々な交通手段を組み合わせ、交通ネットワークを充実させることで回遊性を向上
 ・富士山の世界文化遺産登録による観光客増加が見込まれるため、道路整備事業を推進させ、道路ネットワーク形成を充実させ、観光地へのアクセス道路としての改善と強化
 ・地域住民の生活道路の改善を行うため、交通ネットワークの形成を推進

整備方針3: 誰もが快適に住みやすい、安心・安全のまちづくりの推進
 ・公共空間の整備と都市基盤の整備により、誰もが安心・快適に暮らせる居住環境の推進
 ・地域特性を考慮して、更なる地域総合防災力の強化

整備方針4: 地域住民が主体となったまちづくりの実現
 ・地域住民主体の活動を推進し、行政と連携したまちづくり活動の実現
 ・まちみがき戦略プラン(H23年10月)の「官民が一体となり、日本平・久能山・三保地区を日本一の観光地に磨き上げる」という戦略的ビジョンに沿って、大きな地域資源「三保松原」を中心に、観光施策を強化

方針に合致する主要な事業

■基幹事業
 ・公園: 羽衣公園整備事業、(仮称)三保羽衣公園整備事業
 ・地域生活基盤施設(緑地): (仮称)羽衣海岸緑地整備事業
 ・地域生活基盤施設(駐車場): 三保松原駐車場整備事業
 ・高質空間形成施設(障害者誘導施設): 三保地区公衆トイレ整備事業
提案事業
 ・地域創造支援事業: 三保地区景観計画ガイドライン策定事業
 ・まちづくり活動推進事業: 三保半島地区まちづくり活動支援事業
関連事業
 三保地区自転車走行空間ネットワーク整備事業、松林の健全な育成に向けた実証実験等事業、(仮称)三保松原保全活用計画策定事業、観光案内標識・案内看板整備事業、三保松原遊歩道改修、マツ材線虫防除事業、水上バス運行事業、レンタサイクル運営、清水三保羽衣地区((都)塚間羽衣線)、(仮称)三保松原ビジターセンター建設事業

■基幹事業
 ・道路: (都)羽衣海岸線整備事業
 ・土地区画整理事業: 三保羽衣土地区画整理事業
関連事業
 (都)清水港三保線(折戸1)、三保地区自転車走行空間ネットワーク整備事業、観光案内標識・案内看板整備事業、三保松原遊歩道改修、水上バス運行事業、レンタサイクル運営、(都)羽衣海岸線整備事業、清水三保羽衣地区((都)塚間羽衣線)

■基幹事業
 ・道路: (都)羽衣海岸線整備事業
 ・公園: 羽衣公園整備事業、(仮称)三保羽衣公園整備事業、(仮称)三保宮方公園整備事業
 ・地域生活基盤施設(緑地): (仮称)羽衣海岸緑地整備事業
 ・下水道: 折戸1号雨水幹線整備事業
 ・土地区画整理事業: 三保羽衣土地区画整理事業
 ・高次都市施設(地域交流センター): 複合施設建設事業(三保地域交流センター)
提案事業
 ・地域創造支援事業: 折戸地区雨水きよ整備事業、複合施設建設事業(児童館)
 ・まちづくり活動推進事業: 三保半島地区まちづくり活動支援事業
関連事業
 (都)清水港三保線(折戸1)、清水三保羽衣地区((都)塚間羽衣線)、三保羽衣区画3号公園、三保羽衣区画4号公園、(都)羽衣海岸線整備事業、折戸1号雨水幹線整備事業

提案事業
 ・まちづくり活動推進事業: 三保半島地区まちづくり活動支援事業

その他

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,849.6	交付限度額	739.8	国費率	0.4
---------	---------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比B/C
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
	道路		(都)羽衣海岸線	静岡市	直	W=12m,L=2,200m	16	30	26	26	1,783.0	64.6	64.6		64.6	-
	道路(地方都市リノベーション事業)															
	公園		羽衣公園整備事業	静岡市	直	A=17.5ha	24	30	26	30	1,674.2	386.8	386.8		386.8	-
	公園		(仮称)三保羽衣公園整備事業	静岡市	直	A=0.50ha	28	30	28	30	120.0	120.0	120.0		120.0	-
	公園		(仮称)三保宮方公園整備事業	静岡市	直	A=0.11ha	29	30	29	30	31.0	31.0	31.0		31.0	-
	公園(地方都市リノベーション事業)															
	古都及び緑地保全事業															
	河川															
	下水道		折戸1号雨水幹線整備事業	静岡市	直	L=507m	21	30	26	26	1,842.9	9.1	9.1		9.1	-
	駐車場有効利用システム															
	地域生活基盤施設(緑地)		(仮称)羽衣海岸緑地整備事業	静岡市	直	L=1,490m	20	30	26	30	131.0	89.9	89.9		89.9	-
	地域生活基盤施設(駐車場)		三保松原駐車場整備事業	静岡市	直	A=2,000㎡	27	28	27	28	173.6	43.4	43.4		43.4	-
	地域生活基盤施設(地域防災施設)															
	高質空間形成施設(カラー舗装)															
	高質空間形成施設(障害者誘導施設)		三保地区公衆トイレ整備事業	静岡市	直	1箇所	27	27	27	27	17.3	17.3	17.3		17.3	-
	高次都市施設(地域交流センター)		複合施設建設事業(三保地域交流センター)	静岡市	直	A=750㎡	24	30	28	30	585.6	511.2	511.2		511.2	-
	高次都市施設(観光交流センター)															
	高次都市施設(人工地盤等)															
	地方都市リノベーション推進施設(教育文化施設)															
	生活拠点施設(地域交流センター)															
	既存建造物活用事業(地域生活基盤施設:広場)															
	既存建造物活用事業(観光交流センター)															
	既存建造物活用事業(地方都市リノベーション推進施設)															
	土地区画整理事業		三保羽衣土地区画整理事業	組合	間	A=20.8ha	16	30	26	30	1,820.0	320.5	320.5		320.5	-
	市街地再開発事業															
	住宅街区整備事業															
	地区再開発事業															
	バリアフリー環境整備促進事業															
	優良建築物等整備事業															
	住宅市街地															
	総合整備															
	事業															
	街なみ環境整備事業															
	住宅地区改良事業等															
	都心共同住宅供給事業															
	公営住宅等整備															
	都市再生住宅等整備															
	防災街区整備事業															
	合計										8,178.6	1,593.8	1,593.8	0	1,593.8	-

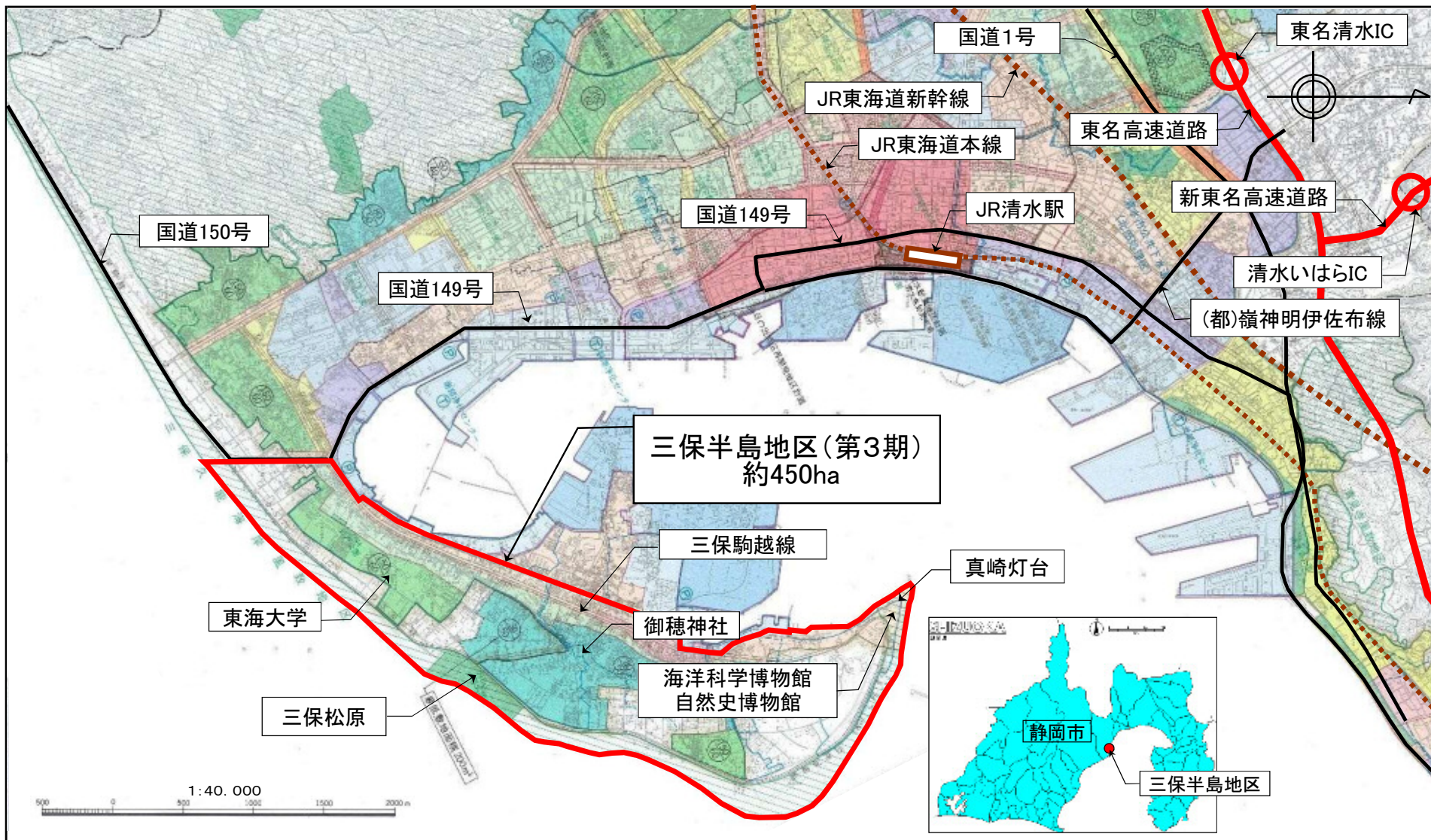
…A

提案事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
	地域創造		三保地区景観計画ガイドライン策定事業	静岡市	直	-	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	10.0	10.0	10.0		10.0	
	支援事業		折戸地区雨水きよみ整備事業	静岡市	直	L=575m	平成29年度	平成29年度	平成29年度	平成29年度	102.0	102.0	102.0		102.0	
			複合施設建設事業(児童館)	静岡市	直	A=250㎡	平成26年度	平成30年度	平成28年度	平成30年度	122.7	112.8	112.8		112.8	
	事業活用調査															
	まちづくり活動推進事業		三保半島まちづくり活動支援事業	静岡市	直	-	平成26年度	平成30年度	平成26年度	平成30年度	31.0	31.0	31.0		31.0	
	合計										265.7	255.8	255.8	0	255.8	
															1,849.6	

…B

都市再生整備計画の区域

三保半島地区(第3期)(静岡県静岡市)	面積	450 ha	区域	清水区折戸・三保・駒越の一部
---------------------	----	--------	----	----------------



三保半島地区(第3期)(静岡県静岡市) 整備方針概要図

目標	富士山世界文化遺産の構成資産である「三保松原」を核とし、 豊かな地域資源を活かした文化・観光・生活の交流半島まちづくり 目標①: 地域資源を磨き上げることで、魅力ある観光まちづくりを実現 目標②: 様々な交通手段を組み合わせ、交通ネットワークを充実させる ことで回遊性を向上 目標③: 誰もが快適で住みやすく、安心・安全のまちづくりの推進 目標④: 地域住民が主体となったまちづくりの実現	代表的な 指標 (案)	観光入込客数 (人/年)	906,734	(H24年度)	→	1,200,000	(H29年度)
			道路・自転車道に対する満足度 (%)	20.1	(H25年度)	→	30.7	(H30年度)
			安心・安全に対する満足度 (%)	10.6	(H25年度)	→	24.5	(H30年度)

